

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
仙南地域広域行政事務組合	白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町	平成 28 年度～令和 2 年度	平成 28 年度～令和 2 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和26年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	13,173t	13,667t	13,076t	-18.4%
	1 事業所当たりの排出量	2t	2t	2t	0.0%
	生活系 総排出量	43,710t	40,304t	43,598t	3.8%
	1 事業所当たりの排出量	246kg/人	227kg/人	265kg/人	-100.0%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	56,883t	53,971t	56,674t	7.8%
再生利用量	直接資源化量	4,990t	4,397t	3,460t	385.7%
	総資源化量	9,814t	14,560t	12,453t	50.5%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	7,018t	2,378t	3,165t	84.8%

※目標未達成の指標のみを記載。  
(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

### 【排出量】

- ・目標を達成できなかった要因としては、令和3年2月に発生した福島県沖地震の影響によりごみ処理が困難となった圏域外の災害ごみを受け入れたこと、東京電力福島第一原子力発電所の事故により発生した8,000Bq/kg以下の農林業系廃棄物の処理を行ったことにより、排出量が増加となった。

### 【再生利用量】

- ・目標を達成できなかった要因としては、目標値設定にあたり紙資源回収量を12.047t/日と定めていたが、令和3年度実績では9.480t/日と回収量が低減したことが挙げられる。低減の背景として、近年の電子化に伴うペーパーレスによる社会変化が要因の一つと考えられる。

### 【最終処分量】

- ・目標を達成できなかった要因としては、上記排出量の目標未達成に伴うもの。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和7年度まで

未達成であった項目については、改善を図るべく下記の取り組みについて強化していくもの。

### 【排出量】

- ・家庭系廃棄物の抑制については、資源ごみとの分別徹底を周知するとともに、令和2年度より配信を開始したスマートフォン向け「ごみ分別アプリ」の普及啓発を行い、平時におけるごみの減量化と資源化につながる取り組みを実施する。

### 【再生利用量】

- ・可燃ごみ、資源ごみの分別徹底を広報、ホームページ等で周知するとともに、ごみ品目の資源化について検討・見直しを行う。

### 【最終処分量】

- ・上記排出量及び再生利用量の方策を実施し、最終処分量の削減を図る。

(都道府県知事の所見)

**【ごみ処理】**

生活系の1人当たりの排出量を減らしていくことが課題であるが、ごみ分別と減量化に資するという点でごみ分別アプリは有効であると思われることから普及に努めるとともに、アプリになじみが薄い高齢者に対しても分別やごみ減量が浸透するような取組を検討されたい。

**【再生利用量】**

紙資源のみではなく、今後はプラスチック製品の回収・再資源化が必要となることから、資源化する品目を検討し、再生利用につなげるよう努められたい。

**【最終処分量】**

ごみ焼却量の削減やスラグの再利用などにより埋立最終処分量を抑制し、最終処分量を減らすよう努められたい。